

道徳科の学習指導案は、教師が年間指導計画に位置付けられた主題を指導するに当たって、児童生徒や学級の実態に即して、教師自身の創意工夫を生かして作成する指導計画です。ねらいを達成するために、道徳科の特質を生かして、何を、どのような順序、方法で指導し、評価し、さらに主題に関連する本時以外の指導にどのように生かすのかなどの構想を表現しましょう。



第2学年1組 道徳科学習指導案(例)

令和〇年〇月〇日(〇)〇校時
指導者 〇〇 〇〇

- 1 主題名 みんなでつかうものだから(C-12 規則の尊重)
- 2 教材名 黄色いベンチ (出典:「きみがいちばんひかるとき」光村図書)
- 3 主題設定の理由



(1) ねらいとする価値について

ねらいとする内容項目の意義等を、学習指導要領を基に記述しましょう。

(2) 児童〔生徒〕の実態について

内容項目に照らし合わせた児童生徒の実態(長所及び課題)や期待する児童生徒の姿、今までの同じ内容項目や他教科での指導との関連等を記述しましょう。

(3) 指導・教材について




資料の概要や取り上げた意図、児童生徒の実態を踏まえた指導の具体的な方策等を記述しましょう。

4 ねらい

.....を通して、.....しようとする.....を育てる。
 [教材を活用し、どのような学習活動を行うかを簡潔に] [内容項目を基に、ねらいとする道徳的価値について] [育みたい道徳性の諸様相] 道徳的心情、判断力、実践意欲と態度

5 学習指導過程

※学習指導過程は、導入・展開・終末の段階を設定することが広く行われています。これを基本形としながら、固定化、形式化することなく弾力的に扱う等の工夫をしていくことも大切です。

	学習活動〔主な発問(○)と予想される児童の反応(・)〕	指導上の留意点(・)
導入	1 事前アンケートをもとに、みんなで使うものについて振り返る。 ○ 主題に対する児童生徒の興味や関心を高め、ねらいの根底にある道徳的価値の自覚に向けて <u>動機付け(方向付け)</u> を図ります。	・ 児童生徒が問題意識をもって学習に臨むための準備をします。 ・ <u>発問を精選し、児童生徒が多様な感じ方や考え方を出し合い、学び合うことができるように</u> します。
展開	2 教材「黄色いベンチ」を読んで話し合う。 ○ ○ ◎ 中心発問 ○ ○ <u>中心的な教材によって、児童生徒の一人一人がねらいとする道徳的価値について自覚が深められるように</u> します。 3 ねらいとする道徳的価値について考える。 ○ 教材をもとに話し合ったことを、自分自身のこととして問い直します。	・ 道徳科に生かす <u>指導方法には多様なもの</u> があります。児童〔生徒〕の発達段階などを捉え、指導方法を吟味します。 ・ 参照:『学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』指導方法の工夫例  (小)P84~86  (中)P83~85
終末	4 自分を見つめる。 ○ ねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめ、今後につなぎます。	・ 参照:西部教育局お役立ち情報『特別の教科 道徳の授業づくり「振り返り」から授業を構想する』 

6 評価の視点

- ☆。『一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか見取ります。』
- ☆。『道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか見取ります。』

